

令和3年度 工芸科

教科	芸術	科目	工芸Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「高等学校 工芸Ⅱ」 (日本文教出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・素材の特徴を生かし、自分の意図を的確に表現しよう。
- ・1年次に学んだ技術を生かし、より完成度の高い作品を制作しよう。

2 学習の到達目標

- ・完成までの制作計画を立てさせ、確認しながら制作する。
- ・制作レポート、鑑賞レポートを充実させる。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観 点	a:工芸への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	工芸の創造活動の喜びを 味わい、工芸や工芸の伝 統と文化に関心をもち、 主体的に表現や鑑賞の創 造活動に取り組もうとす る。	感性や想像力を働かせ て、心豊かな発想をし、 よさや美しさなどを考え 制作の構成を練ってい る。	創造的な工芸の制作をす るために必要な技能を身 に付け、表現方法を工夫 している。	工芸や工芸の伝統と文 化を幅広く理解し、その よさや美しさを創造的 に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 制作途中の作品	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 完成作品	制作途中の作品 完成作品	ワークシート 発言内容
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	楽 器 サ ン ザ	【鑑賞】 オリエンテーション ・教科書等を鑑賞し多様な表 現形式について学び「工芸 Ⅱ」の学習イメージを持つ ・鑑賞内容を発表する	○			○	a:工芸の多様な表現に関心を 持ち、これからの学習に意 欲を高めている。 d:工芸作品などのよさや美し さを感じ取り、美術の働き や文化についての理解を深 めている	鑑賞レポート  鑑賞活動の様 子や発言内容

		<b>【ミクストメディア】</b> ・条件にあったデザインを考える。 ・共鳴体の型を作り、シュレッダー粘土で成形する。 ・板材、角材を正確に切り、接合する。アクリルガッシュを重ね塗りし、やすりで表面を研ぎ色の層を出す。 ・金属などの各パーツを丁寧に制作し、組み立てる。 ・制作レポートを丁寧に書く。	○	○	○		a: 学習内容に関心を持ち、手順、材料の使用方法的確認ができている。 b: 楽器としての構造を理解し演奏しやすさ、美しさを備えたデザインを考えている。 c: 素材の特性と仕組みを理解し、音が響くように制作できている。 d: 完成作品を客観的に観察し正しい文章で表現できる。	用具、材料の適切な使用 アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作 制作レポート 完成作品
	高校展レポート	<b>【鑑賞】</b> ・高校展を鑑賞し、レポートを丁寧に書く。	○				a: 作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d: 作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	鑑賞レポート
2学期	ガラス入り陶箱	<b>【陶芸】</b> ・条件に合ったデザインを考える。 ・ひも作り又はくりぬきで成形し、化粧土掻き落とし、または象嵌で文様を施す。 ・素焼き後、釉薬をつけ、中にガラスを入れて本焼きする。 ・制作レポートを丁寧に書く。	○	○			a: 学習内容に関心を持ち、手順、材料の使用方法的確認ができている。 b: 技法を理解している。 c: 作品全体に彫り文様を工夫し施している。 d: 完成作品を客観的にみることができている。正しい文章で表現できている。	用具、材料の適切な使用 制作の様子 途中の作品 制作レポート 完成作品
3学期	草木染め	<b>【染色】</b> ・条件に合ったデザインを考える。 ・校内植物を採集し染液をつくる。 ・布に絞りなどを施し、染色・媒染する。 ・縫い合わせて作品にする。 ・制作レポートを丁寧に書く。	○				a: 学習内容に関心を持ち、手順、材料の使用方法的確認ができている。 b: 染めの技法を理解しデザインを工夫している。 c: 絞り技法を理解し、文様に工夫がみられる。 d: 完成作品を客観的にみることができている。正しい文章で表現できている。	用具、材料の適切な使用 制作の様子 途中の作品 制作レポート 完成作品
	3年校内展レポート	<b>【鑑賞】</b> ・3年校内展を鑑賞し、レポートを丁寧に書く。	○				a: 作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d: 作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	鑑賞レポート

※ 表中の観点について a: 工芸への関心・意欲・態度  
c: 創造的な技能

b: 発想や構想の能力  
d: 鑑賞の能力

※ 年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。